

平成23年度第1回霧島市入札等監視委員会議事概要

開催日時及び場所	平成23年5月23日（月） 午後1時30分 霧島市国分シビックセンター 公民館3階大会議室									
出席委員	委員長 有馬 純春（大学教授） 委員 岸本 博人（税理士） 委員 塩屋園 哲（元行政職）									
審議対象期間	平成 22年 10月 1日～平成 23年 3月 31日									
	<table border="1"> <tr> <td>総件数</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>一般競争入札</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>指名競争入札</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>随意契約</td> <td>4件</td> </tr> </table>	総件数	10件	一般競争入札	4件	指名競争入札	2件	随意契約	4件	(備考) 次回は平成23年11月に開催
総件数	10件									
一般競争入札	4件									
指名競争入札	2件									
随意契約	4件									
<p>議 題</p> <p>1. 平成22年度下半期入札状況及び指名停止等報告</p> <p>2. 審議案件(案件番号第1号～第10号)</p> <p>※ 質問、回答については別紙のとおり</p>										
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし									

別紙（H23第1回）

意見・質問	回 答
<p>○平成22年度 配水管布設設計業務委託（H23溝辺地区）について、参加業者が6社と少ない理由と機器代が設計額に占める割合を知りたい。</p> <p>○22災55-6号・55-1005号農地・農業用施設災害復旧事業伊勢谷3地区外2件について、再々入札の上での随意契約だが、公共災害であり格付けを除外したのか。また、予定価格は事前公表であったのか。</p> <p>○高所木伐採等業務委託（1工区）について、指名競争入札で落札せず、大手業者との随意契約であったが、小規模の業者では困難な工事であったか。</p> <p>○平成22年度浜之市地区老朽建築物等除却工事について、発注工種が「とび・土工コンクリート工事」の上、「建築一式工事」の資格も必要とある。説明が欲しい。</p> <p>○市の入札制度の見直しを行うとのこと説明してほしい。</p>	<p>○一般競争入札であり資格のある業者は29社で6社が申し込みをされたもの。設計額に対して機器代は34.7%、二次製品の占める割合は56%、落札額に対しては80.8%である。</p> <p>○格付け外の業者を指名したが落札しなかった。予定価格は、指名競争では事前公表だが、随意契約は事前公表をしない。</p> <p>○緊急雇用事業でハローワークを通じて新規雇用する必要もあった。最終的には福山地区・国分地区のA級の業者を指名した。</p> <p>○解体工事等については優先順位もある。建物であり面積が150㎡以上あるため建築一式の資格も必要。県にも確認しながら要件を定めた。</p> <p>○今年度中に格付けの見直しを行う。合併以降、土木・建築・舗装の3工種について県の格付けに準じて行っていたが、合併後5年経過し工事成績評価の平均点データも取得できたので、市独自の格付けを行いたい。また、一般競争入札を導入し、郵便から電子入札へ拡大を行ってきたところである。談合事件については、公正取引委員会に加え警察への通報を行う方向であり、予定価格の事後公表についても、検討に値するため現在調整中である。電子入札の拡充については、対象をC級まで行おうと考えている。また、それ以下の級層にも指導を行いたい。</p>